

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人千葉県水産振興公社	県所管課	農林水産部水産局 漁業資源課
代表者	理事長 根本 均	電 話	043 - 223 - 3035
所在地	千葉市中央区中央3-3-1フジモト第一生命ビルディング3F		
電 話	043 - 222 - 3181		
設立年月日	平成6年6月1日		
ホームページ アドレス	http://www.chisuikou.jp/		
事業内容	(1)栽培漁業の推進に関する事業 (2)水産業の経営の安定に資する事業 (3)その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

1 出資等の状況(R3.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	200,000
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	200,000	100.0%	1	
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R3.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資産	1,079,041	1,133,288	1,210,629
負債	25,130	19,878	60,050
(うち有利子負債)	0	0	0
純資産	1,053,911	1,113,411	1,150,579
累積損益(利益剰余金)	162,693	171,022	173,080

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	605,088	450,198	433,821
経常損益	895	8,354	5,798
当期損益	895	8,330	2,057
減価償却前当期損益	7,452	14,060	6,163

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
借入金残高			
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 純資産 正味財産合計

利益剰余金 一般正味財産

損益計算書 損益計算書 正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

経常損益 当期経常増減額

当期損益 当期一般正味財産増減額

累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料	アワビ種苗の生産配付及び魚類種苗飼育等の業務	162,846	166,127	166,474
補助金・交付金・負担金	栽培漁業の推進に関する事業費補助	36,523	36,352	36,317
合計		199,369	202,479	202,791

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料のうち再委託したもの				
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの				

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常勤役員数	2	2	2
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	1	1	1
常勤職員数	9	9	9
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	4	4	4

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数(県派遣又は県OB)	2人(2人)	2人(2人)	2人(2人)
役員平均年齢	57歳	59歳	60歳
平均年収(千円)	8,911千円	8,889千円	8,891千円
職員数(県派遣又は県OB)	9人(4人)	9人(4人)	9人(4人)
職員平均年齢	46歳	48歳	49歳
平均年収(千円)	6,166千円	6,131千円	6,193千円

対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

役職員数は実人員を記入してください。

平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

役職員数は実人員を記入してください。

令和3年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

令和3年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	県と連携した経営改善
改革方針(概要)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月に策定した公社経営計画(計画期間:平成27~31年度)に基づき、事業収益の向上や事業の効率化を行うとともに、県派遣職員の削減及びプロパー職員の育成に努め、経営の安定化を図る。 県が策定した栽培漁業基本計画の対象種について、生産効率を向上させ、事業収益の改善を図る。
取組状況	<p>(1)経営計画に基づく経営の安定化 令和2年3月に新たな経営計画(計画期間:令和2~6年度)を策定し、ノリ種苗の増産やクルマエビ等の種苗生産・配付、マダイ・ヒラメの中間育成・放流事業等の効率化を行い栽培漁業を推進している。また、平成29年度にプロパー職員の新規採用・県派遣職員の1名の削減を行うとともに、人員の有機的配置による効率的な事業展開や再任用職員の活用等によるプロパー職員の育成と技術の継承に努め、公社経営の安定化を図っている。</p> <p>(2)事業収益の改善について マダイ・ヒラメ・クルマエビの中間育成や種苗生産・配付業務等にかかる経費を削減する他、調査研究事業にかかる受託業務の導入等に務めている。</p>
その他(特記事項等)	

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。